

【中期目標期間（見込）評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価		評価委員会の検証
			自己 評価	検 証 (案)
01	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備 この地域で提供可能な急性期医療を推進するため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、医療機器の計画的な更新・整備を進める。 医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。 また、これらの医療機器の持つ能力を十分引き出せるような技術の取得及びレベルアップができるような体制を整備する。測定機器の校正など精度管理を徹底する。</p> <p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、薬剤師等医療従事者の確保、定着を図る。 特に、医師の勤務条件を緩和する</p>	<p>* 医療の物的、人的な質向上に関する事項 医療水準を維持・向上させるためには、医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について、整備計画を作成、院内委員会等で確認し計画的な更新・整備を進めている。高額な機器については、補助金等の活用を図ることを条件に、更新・整備を進めた。 医師については、医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用）を行うことにより、医師確保に務めた。加えて、医師事務作業補助者を充実させ、医師の業務負担の軽減を図った。また、常勤医不在の診療科（脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図っている。 看護部においては、看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に全ての病棟において新たな看護方式「PNS（パートナースhip・ナーシング・システム）」を導入するなど、看護師の負担軽減を図っている。また、法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。 PNS看護体制の補完として、院内の部署間で相互に支援する取組みを進め、職員数の減少を補った。また、プラチナナースを各自の経験を活かすことのできる部署に配置し、長く働ける工夫を行った。 なお、看護師の再就職支援者研修について、年2回の開催を計画するが、参加者はなかったため、県看護協会ナースセンターが主催する看護職員等就業促進研修事業への参加、就職ガイダンスへの参加、院内ポスターの掲示、下呂市が発行する機関誌への掲載などにより、引き続き再就職を支援する。(●) より質の高い医療の提供に必要なコメディカルの確保に取り組んでいるが、薬剤師の確保について、HPへの掲載、実習生の受入れ、就職ガイダンスへの参加、随時募集の実施や大学へのPRなど様々な取り組みを行っているが、薬剤師の欠員（2人）が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組んでいく。(●) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成については、協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携を図り、臨床研修医の受入れと指導体制の充実を図った。</p>	III	

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																																																																						
								自己 評価	検 証 (案)																																																																																																																																					
	<p>ため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂温泉病院勤務医師、岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置している地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 ・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用 ・医師募集エージェントへの登録 ・医療ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる非常勤医師の活用 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者の充実 ・地元出身者や地元関係者への働きかけ <p>看護師負担の軽減のため、ポーター制度の継続、パートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）の定着及び看護補助者の適正配置など支援体制の充実を図る。また、看護体制維持に必要な看護師数の確保を図るため、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進、再就職支援者研修及び学校訪問などに取り組む。</p> <p>薬剤師確保の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部のある大学教員や薬学生との交流や行事などへの参加の推進 ・地元出身者及び地元関係者への働 	<p>看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師等看護の専門性を高める特定行為の資格取得を促進した。</p> <p>○ 更新・整備を行った高額医療機器（予定価格2,000万円以上）の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡[®]デボシステム(上部)</td> <td>H25</td> <td>1,144</td> <td>1,334</td> <td>1,209</td> <td>1,177</td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>372</td> <td>395</td> <td>310</td> <td>289</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>H25</td> <td>2,922</td> <td>2,244</td> <td>1706</td> <td>1,741</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内視鏡[®]デボシステム(下部)</td> <td>H29</td> <td>511</td> <td>651</td> <td>519</td> <td>561</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ</td> <td>H30</td> <td>74</td> <td>129</td> <td>137</td> <td>170</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全身用X線CT装置</td> <td>R2</td> <td>15</td> <td>567</td> <td>647</td> <td>3,476</td> <td></td> </tr> <tr> <td>回診用X線撮影装置</td> <td>R3</td> <td>—</td> <td>204</td> <td>496</td> <td>508</td> <td></td> </tr> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>R3</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>64</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>R5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26、27、R1及びR4年度は高額医療機器の整備実績なし ※回診用X線撮影装置のR3年度稼働件数は、R3年9月以降の実績 ※血管撮影装置のR3年度稼働件数は、R4年3月のみの実績 ※MRI(R5年度整備)はR6年4月からの稼働のため、R5年度は実績なし</p> <p>○ 医師、看護師、コメディカルの職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度初</th> <th>R2年度初</th> <th>R3年度初</th> <th>R4年度初</th> <th>R5年度初</th> <th>R6年度初</th> <th>増減 (元→R6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>30名</td> <td>30名</td> <td>30名</td> <td>27名</td> <td>31名</td> <td>30名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(3名)</td> <td>(3名)</td> <td>(4名)</td> <td>(5名)</td> <td>(7名)</td> <td>(6名)</td> <td>(+3名)</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>250名</td> <td>247名</td> <td>246名</td> <td>240名</td> <td>232名</td> <td>217名</td> <td>▲33名</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(55名)</td> <td>(61名)</td> <td>(61名)</td> <td>(58名)</td> <td>(53名)</td> <td>(49名)</td> <td>(▲6名)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>76名</td> <td>75名</td> <td>78名</td> <td>75名</td> <td>71名</td> <td>71名</td> <td>▲5名</td> </tr> <tr> <td>(うち非常勤)</td> <td>(6名)</td> <td>(7名)</td> <td>(6名)</td> <td>(8名)</td> <td>(9名)</td> <td>(9名)</td> <td>(+3名)</td> </tr> </tbody> </table>							整備年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	内視鏡 [®] デボシステム(上部)	H25	1,144	1,334	1,209	1,177		X-TV透視診断装置	H25	372	395	310	289		MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,922	2,244	1706	1,741		手術用顕微鏡システム	H28	5	6	5	4		内視鏡 [®] デボシステム(下部)	H29	511	651	519	561		ガンマカメラ	H30	74	129	137	170		全身用X線CT装置	R2	15	567	647	3,476		回診用X線撮影装置	R3	—	204	496	508		血管撮影装置	R3	—	2	64	54		MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	—	0		項目	元年度初	R2年度初	R3年度初	R4年度初	R5年度初	R6年度初	増減 (元→R6)	医師	30名	30名	30名	27名	31名	30名	0名	(うち非常勤)	(3名)	(3名)	(4名)	(5名)	(7名)	(6名)	(+3名)	看護師・助産師	250名	247名	246名	240名	232名	217名	▲33名	(うち非常勤)	(55名)	(61名)	(61名)	(58名)	(53名)	(49名)	(▲6名)	コメディカル	76名	75名	78名	75名	71名	71名	▲5名	(うち非常勤)	(6名)	(7名)	(6名)	(8名)	(9名)	(9名)	(+3名)		
	整備年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																																																																																								
内視鏡 [®] デボシステム(上部)	H25	1,144	1,334	1,209	1,177																																																																																																																																									
X-TV透視診断装置	H25	372	395	310	289																																																																																																																																									
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,922	2,244	1706	1,741																																																																																																																																									
手術用顕微鏡システム	H28	5	6	5	4																																																																																																																																									
内視鏡 [®] デボシステム(下部)	H29	511	651	519	561																																																																																																																																									
ガンマカメラ	H30	74	129	137	170																																																																																																																																									
全身用X線CT装置	R2	15	567	647	3,476																																																																																																																																									
回診用X線撮影装置	R3	—	204	496	508																																																																																																																																									
血管撮影装置	R3	—	2	64	54																																																																																																																																									
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	—	0																																																																																																																																									
項目	元年度初	R2年度初	R3年度初	R4年度初	R5年度初	R6年度初	増減 (元→R6)																																																																																																																																							
医師	30名	30名	30名	27名	31名	30名	0名																																																																																																																																							
(うち非常勤)	(3名)	(3名)	(4名)	(5名)	(7名)	(6名)	(+3名)																																																																																																																																							
看護師・助産師	250名	247名	246名	240名	232名	217名	▲33名																																																																																																																																							
(うち非常勤)	(55名)	(61名)	(61名)	(58名)	(53名)	(49名)	(▲6名)																																																																																																																																							
コメディカル	76名	75名	78名	75名	71名	71名	▲5名																																																																																																																																							
(うち非常勤)	(6名)	(7名)	(6名)	(8名)	(9名)	(9名)	(+3名)																																																																																																																																							

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証																																																																																																																	
							自己 評価	検 証 (案)																																																																																																																
	きかけ ・病院ホームページや地域情報誌などを通じた情報発信 ・薬剤業務補助者の活用による薬剤師の負担軽減及び病棟業務やチーム医療への業務展開の維持・推進 ・薬剤師募集エージェントへの登録 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター、岐阜県総合医療センター等の連携により臨床研修医の受入れ及び指導体制の充実に図り、特に地域医療を志す医師を養成する。 4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進 専門性を高める資格取得を促進し、特定行為看護師、認定看護師等の育成及び活用を図る。 また、新卒看護職員卒後研修やラダー研修(キャリアアップの階層研修)により看護実践能力の習得を支援する。 5 コメディカルに対する専門研修の実施 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の医療技術者について、専門性の向上に向け	○ 医師事務作業補助者採用活動の実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務)医師事務作業補助者</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>名</td> </tr> </tbody> </table> ○ 診療依頼延べ回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,793回</td> <td>1,498回</td> <td>1,452回</td> <td>1,497回</td> <td>1,548回</td> <td>回</td> <td>▲245回</td> </tr> </tbody> </table> ○ 臨床研修医の受入状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>名</td> <td>▲1名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>名</td> <td>▲1名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> <td>4名</td> <td>8名</td> <td>名</td> <td>+6名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11名</td> <td>10名</td> <td>12名</td> <td>10名</td> <td>15名</td> <td>名</td> <td>+4名</td> </tr> </tbody> </table> ○ 認定看護師・認定看護管理者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>名</td> <td>±0件</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>名</td> <td>±0件</td> </tr> </tbody> </table> ○ コメディカルの研修等派遣数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>8名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>名</td> <td>▲6名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>9名</td> <td>名</td> <td>+3名</td> </tr> </tbody> </table>	職種別	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	(専門業務)医師事務作業補助者	1名	1名	1名	1名	0名	名	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)	1,793回	1,498回	1,452回	1,497回	1,548回	回	▲245回	項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)	岐阜大学医学部附属病院	5名	3名	3名	2名	4名	名	▲1名	岐阜県総合医療センター	4名	3名	3名	4名	3名	名	▲1名	岐阜市民病院	2名	4名	6名	4名	8名	名	+6名	計	11名	10名	12名	10名	15名	名	+4名	項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)	認定看護師数	7名	7名	7名	7名	7名	名	±0件	認定看護管理者	1名	1名	0名	0名	1名	名	±0件	職種	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)	薬剤師	8名	1名	3名	1名	2名	名	▲6名	検査技師	6名	0名	0名	0名	9名	名	+3名		
職種別	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																																																																		
(専門業務)医師事務作業補助者	1名	1名	1名	1名	0名	名																																																																																																																		
元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)																																																																																																																		
1,793回	1,498回	1,452回	1,497回	1,548回	回	▲245回																																																																																																																		
項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)																																																																																																																	
岐阜大学医学部附属病院	5名	3名	3名	2名	4名	名	▲1名																																																																																																																	
岐阜県総合医療センター	4名	3名	3名	4名	3名	名	▲1名																																																																																																																	
岐阜市民病院	2名	4名	6名	4名	8名	名	+6名																																																																																																																	
計	11名	10名	12名	10名	15名	名	+4名																																																																																																																	
項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)																																																																																																																	
認定看護師数	7名	7名	7名	7名	7名	名	±0件																																																																																																																	
認定看護管理者	1名	1名	0名	0名	1名	名	±0件																																																																																																																	
職種	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)																																																																																																																	
薬剤師	8名	1名	3名	1名	2名	名	▲6名																																																																																																																	
検査技師	6名	0名	0名	0名	9名	名	+3名																																																																																																																	

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価							評価委員会の検証																																																					
									自己 評価	検 証 (案)																																																				
	<p>た研修等への参加による技術向上や資格取得できる体制を確保する。</p> <p>特に、理学療法士等のリハビリセンター職員については、疾患別に認定療法士の養成を推進し、セラピストの知識・技術の向上を図る。</p>	臨床工学技士	5名	1名	0名	1名	1名	名	▲4名																																																					
		放射線技師	12名	0名	0名	5名	5名	名	▲7名																																																					
		リハビリ技師	14名	1名	7名	8名	4名	名	▲10名																																																					
		管理栄養士	3名	3名	3名	3名	3名	名	±0名																																																					
		計	48名	6名	13名	18名	24名	名	▲24名																																																					
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との連携を強化することで、紹介率(40%以上)、逆紹介率(50%以上)の維持・向上を図る。</p> <p>下呂市立金山病院との役割分担の明確化と連携を強化し、効率的で質の高い医療体制を確保する。</p> <p>地域の医療機関による医療機器の共同利用や開放型病床の利用拡大に努めるなど、病病・病診連携を推進する。</p> <p>また、下呂市医師会の会員として、当院で理事会を開催するなど引き続き協力体制を維持するほか、下呂市健康福祉部との医療関係課長会議に参加し、意見交換を行うなど連携を図る。</p> <p>消防署との情報交換会、ぎふ救急ネットの活用等により地域の救急医療の充実強化を図る。</p> <p>2 地域連携クリティカルパスの整備普及</p> <p>地域連携クリティカルパスの普及に向けて拠点病院と意見交換を行うなど整備普及を促進する。</p> <p>慢性腎臓病(CKD: Chronic</p>	<p>* 近隣の医療機関等との役割分担に関する事項</p> <p>近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所(かかりつけ医)と当院の役割分担に努めた。</p> <p>また、下呂市医療機関担当課長会議や、研修の受入れなど、下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携を図っている。</p> <p>地域の医療機関による高度医療機器の使用や開放型病床の共同利用に努めるなど病診・病病連携を推進するほか、下呂市医師会の会員として、当院で理事会を開催するなど協力体制を図っている。</p> <p>飛騨地域の基幹病院として、他の医療機関との機能分担と連携を強化するために、地域連携クリティカルパスの整備・普及等に取り組んだものの、地理的な問題もあり、整備・普及が進まなかった。今後も、地域連携クリティカルパスの普及に向け、東濃地域や飛騨地域の診療拠点病院と連携し、整備普及を促進する。(●)</p> <p>下呂市及び中津川市の保健師と協力し、生活改善等の療養指導希望者に対する「CKD手帳」を使用した予防教育を平成28年度から開始。CKD手帳を持参されないケースも多く、人員不足もあってCKD手帳の普及が進まず、電子カルテに記載し継続看護、連携できるよう対応を図りながらも、CKD予防に取り組んでいる。</p> <p>○ 紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.4%</td> <td>36.9%</td> <td>37.3%</td> <td>35.2%</td> <td>38.1%</td> <td>%</td> <td>+47P</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,402件</td> <td>2,360件</td> <td>2,215件</td> <td>2,206件</td> <td>2,163件</td> <td>件</td> <td>▲239件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>55.2%</td> <td>60.7%</td> <td>63.9%</td> <td>40.2%</td> <td>60.3%</td> <td>%</td> <td>+5.1P</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>4,638件</td> <td>4,197件</td> <td>4,603件</td> <td>3,330件</td> <td>3,891件</td> <td>件</td> <td>▲747件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 歯科を除く。</p> <p>○ 地域連携クリティカルパス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携クリティカルパス</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元-R5)	紹介率	33.4%	36.9%	37.3%	35.2%	38.1%	%	+47P	紹介実施件数	2,402件	2,360件	2,215件	2,206件	2,163件	件	▲239件	逆紹介率	55.2%	60.7%	63.9%	40.2%	60.3%	%	+5.1P	逆紹介実施件数	4,638件	4,197件	4,603件	3,330件	3,891件	件	▲747件	連携パス名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	東濃地域脳卒中地域連携パス	0件	0件	0件	0件	件	飛騨地域がん地域連携クリティカルパス	0件	0件	0件	1件	件	III	
項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元-R5)																																																							
紹介率	33.4%	36.9%	37.3%	35.2%	38.1%	%	+47P																																																							
紹介実施件数	2,402件	2,360件	2,215件	2,206件	2,163件	件	▲239件																																																							
逆紹介率	55.2%	60.7%	63.9%	40.2%	60.3%	%	+5.1P																																																							
逆紹介実施件数	4,638件	4,197件	4,603件	3,330件	3,891件	件	▲747件																																																							
連携パス名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																									
東濃地域脳卒中地域連携パス	0件	0件	0件	0件	件																																																									
飛騨地域がん地域連携クリティカルパス	0件	0件	0件	1件	件																																																									

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					評価委員会の検証																															
							自己 評価	検 証 (案)																														
	Kidney Disease) 予防に取り組む下呂市が作成した手帳について、普及促進に努めるとともに生活指導の充実を図る。 また、下呂市主催の会議に積極的に参加するなど関係者との連携強化を図る。	○ CKD (慢性腎臓病) 予防に取り組む連携パスの普及促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続支援を行った eGFR30 以下の患者数</td> <td>62 名</td> <td>119 名</td> <td>60 名</td> <td>93 名</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>うちCKD手帳の利用者数</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>うち腎臓内科受診者数</td> <td>1 名</td> <td>2 名</td> <td>6 名</td> <td>6 名</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>うち透析導入患者数</td> <td>1 名</td> <td>2 名</td> <td>6 名</td> <td>6 名</td> <td>名</td> </tr> </tbody> </table> 支援内容：検査記録の記載、生活状況の確認と改善のアドバイス、透析への準備教育					区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度	継続支援を行った eGFR30 以下の患者数	62 名	119 名	60 名	93 名	名	うちCKD手帳の利用者数	6 名	7 名	1 名	0 名	名	うち腎臓内科受診者数	1 名	2 名	6 名	6 名	名	うち透析導入患者数	1 名	2 名	6 名	6 名	名		
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度																																	
継続支援を行った eGFR30 以下の患者数	62 名	119 名	60 名	93 名	名																																	
うちCKD手帳の利用者数	6 名	7 名	1 名	0 名	名																																	
うち腎臓内科受診者数	1 名	2 名	6 名	6 名	名																																	
うち透析導入患者数	1 名	2 名	6 名	6 名	名																																	
05	岐阜県地域医療構想に基づき、岐阜県の中山間地域におけるへき地中核病院として、「生活の場の医療(※)」を提供するとともに、産科、小児科、救急医療等政策的な医療提供体制の維持・推進を図る。 ※生活の場の医療：この地でしか医療が受けられない人のための医療や、生活している場所でしか受けられない医療	* へき地医療の拠点的機能の充実に関する事項 飛騨南部地域の基幹病院として、生活の場の医療(※)の提供に取り組むとともに、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 ※生活の場の医療：この地でしか医療が受けられない人や、生活している場所でしか受けられない医療 下呂市が実施する産婦支援事業(産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業)に協力した。また、下呂市から乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期の支援体制づくりに寄与した。					IV	今後の小児・産科医療の提供に関して開業医との連携も含めて検討いただきたい。																														
06	1 臨床研究及び治験の推進 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制を充実し、受託件数の増加に努めるとともに、大学等の研究機関との共同研究を推進する。	* 調査及び臨床研究等の推進に関する事項 薬剤部・事務局(契約締結、収入・研究予算管理)で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより受託件数の増加を促している。 ○ 受託実績 ※契約締結数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>受託内容</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用成績調査</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>特定使用成績調査</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>					受託内容	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	使用成績調査	0 件	0 件	1 件	1 件	件	特定使用成績調査	0 件	0 件	1 件	1 件	件	III													
受託内容	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																	
使用成績調査	0 件	0 件	1 件	1 件	件																																	
特定使用成績調査	0 件	0 件	1 件	1 件	件																																	
08	1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、その他の県内臨床研修病院等と連携し、当院の特徴を生かした臨床研修プログラムにより、臨床研修医の資質向上を図る。	* 地域医療を目指す医師の養成に関する事項 協力型の臨床研修病院として岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等から地域医療研修を行う臨床研修医を受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努めた。 また、基幹型の臨床研修病院として、岐阜大学地域医療医学センター、岐阜県総合医療センター、南ひだせせらぎ病院及び小坂診療所等との連携を密にしながら、当院独自の臨床研修プログラムを作成し、充実した研修を推進している。					IV																															

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																									
								自己 評価	検 証 (案)																																																								
	<p>また、初期臨床研修期間終了後、引き続き当院での勤務が継続できるよう、定着化の推進を図る。</p> <p>さらに、他の臨床研修病院からの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。</p> <p>2 専攻医の育成等</p> <p>専門研修プログラムの連携施設として基幹施設からの専攻医の受入れを積極的に行い、専門医研修に協力する。</p>	<p>○ 初期研修医及び後期（専門）研修医の受入数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修医</td> <td>11 名</td> <td>10 名</td> <td>12 名</td> <td>10 名</td> <td>14 名</td> <td>名</td> <td>+3 名</td> </tr> <tr> <td>後期（専門）研修 医</td> <td>4 名</td> <td>8 名</td> <td>8 名</td> <td>5 名</td> <td>6 名</td> <td>名</td> <td>+2 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 臨床研修医の県内定着化の促進に関する事項</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施した。</p> <p>当院を見学希望する医学生に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。初期臨床研修医数も年々増えてきている。</p> <p>平成 29 年度及び令和 3 年度に常勤職員として採用した初期臨床研修医 2 名については、当院の内科として引き続き勤務している。</p> <p>○ 初期臨床研修医数（各年 3.31 時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医数</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>名</td> <td>±0 名</td> </tr> <tr> <td>うち当該年度の新規採用数</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>名</td> <td>±0 名</td> </tr> <tr> <td>上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者</td> <td>2 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> <td>2 名</td> <td>名</td> <td>±0 名</td> </tr> </tbody> </table>						項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	初期研修医	11 名	10 名	12 名	10 名	14 名	名	+3 名	後期（専門）研修 医	4 名	8 名	8 名	5 名	6 名	名	+2 名		元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	研修医数	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	名	±0 名	うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	名	±0 名	上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名	名	±0 名		
項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																																										
初期研修医	11 名	10 名	12 名	10 名	14 名	名	+3 名																																																										
後期（専門）研修 医	4 名	8 名	8 名	5 名	6 名	名	+2 名																																																										
	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																																										
研修医数	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	名	±0 名																																																										
うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	名	±0 名																																																										
上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名	名	±0 名																																																										
10	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>二次救急医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部と当院医師及びコメディカルとの情報交換会を開催し、症例発表や講演会を通じた地域メディカルコントロールの連携強化を図る。</p> <p>また、飛騨地域メディカルコントロール協議会感染防止部会に参加し、共同して病院前救護における感染対策活動に取り組む。</p> <p>さらに、病診連携を推進し、開業</p>	<p>* 地域医療水準の向上に関する事項</p> <p>医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成 24 年度から開放型病床 5 床を運用し、患者に対し安心した療養環境の提供を図っている。また、当院医療機器の地域開業医等の共同利用を促進し、地域医療水準の向上を図っている。</p> <p>地域医師会との情報交換会を原則第 1 木曜日を実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を務めるなど病診連携を推進している。</p> <p>また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を毎月開催し、症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携強化、救急医療体制の充実強化を図った。</p>						III																																																									

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																																																
								自己 評価	検 証 (案)																																																																																																															
	<p>医との情報交換を積極的に行うとともに、医療機器の共同利用や開放型病床の利用促進により地域医療の向上を図る。</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>飛騨及び中濃地域のへき地診療所や医師不足地域の医療機関等への診療支援を行う。</p> <p>3 地域医療に携わる医師の養成</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療に携わる医師の養成に取り組む。</p>	<p>○ 開放型病床利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (実人数)</td> <td>12 名</td> <td>22 名</td> <td>35 名</td> <td>45 名</td> <td>48 名</td> <td>名</td> <td>+36 名</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>180 名・日</td> <td>286 名・ 日</td> <td>407 名・ 日</td> <td>493 名・日</td> <td>453 名・日</td> <td>名・日</td> <td>+273 名・日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 当院医療機器の地域開業医等の共同利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>128 件</td> <td>127 件</td> <td>129 件</td> <td>131 件</td> <td>109 件</td> <td>件</td> <td>▲19 件</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td>21 件</td> <td>10 件</td> <td>35 件</td> <td>17 件</td> <td>19 件</td> <td>件</td> <td>▲2 件</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> <td>- 件</td> <td>- 件</td> <td>件</td> <td>▲2 件</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> <td>- 件</td> <td>- 件</td> <td>件</td> <td>▲2 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>153 件</td> <td>141 件</td> <td>167 件</td> <td>148 件</td> <td>128 件</td> <td>件</td> <td>▲25 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* へき地医療拠点病院としての地域医療支援に関する事項</p> <p>中濃圏域のへき地診療所や医師不足地域の医療機関への診療支援などの人的支援を行った。</p> <p>総合健診センター部において、平成 22 年度から下呂市がん検診、特定健診、すこやか健診を実施し、平成 26 年度から下呂市と連携して地域別健診日を設定し全ての住民健診を実施可能とした。平成 28 年度からは新たに、下呂市乳がん、前立腺がん検診を受託するなど、へき地医療拠点病院として地域医療を支援している。</p> <p>○ へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国 保診療所</td> <td>外科</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 日</td> <td>▲12 日</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 0 日</td> <td>延 日</td> <td>±0 日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母 子健康センター</td> <td>産婦人科</td> <td>延 21 日</td> <td>延 20 日</td> <td>延 20 日</td> <td>延 22 日</td> <td>延 20 日</td> <td>延 日</td> <td>▲1 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>延 33 日</td> <td>延 32 日</td> <td>延 20 日</td> <td>延 22 日</td> <td>延 20 日</td> <td>延 日</td> <td>▲13 日</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	利用者数 (実人数)	12 名	22 名	35 名	45 名	48 名	名	+36 名	利用延べ人数	180 名・日	286 名・ 日	407 名・ 日	493 名・日	453 名・日	名・日	+273 名・日	医療機器	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	MR I	128 件	127 件	129 件	131 件	109 件	件	▲19 件	C T	21 件	10 件	35 件	17 件	19 件	件	▲2 件	心エコー	2 件	2 件	1 件	- 件	- 件	件	▲2 件	頸動脈エコー	2 件	2 件	2 件	- 件	- 件	件	▲2 件	計	153 件	141 件	167 件	148 件	128 件	件	▲25 件	出向先	診療科	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	東白川村国 保診療所	外科	延 12 日	延 12 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 日	▲12 日	整形外科	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 日	±0 日	東白川村母 子健康センター	産婦人科	延 21 日	延 20 日	延 20 日	延 22 日	延 20 日	延 日	▲1 日	合計		延 33 日	延 32 日	延 20 日	延 22 日	延 20 日	延 日	▲13 日		
項 目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																																																																																																	
利用者数 (実人数)	12 名	22 名	35 名	45 名	48 名	名	+36 名																																																																																																																	
利用延べ人数	180 名・日	286 名・ 日	407 名・ 日	493 名・日	453 名・日	名・日	+273 名・日																																																																																																																	
医療機器	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																																																																																																	
MR I	128 件	127 件	129 件	131 件	109 件	件	▲19 件																																																																																																																	
C T	21 件	10 件	35 件	17 件	19 件	件	▲2 件																																																																																																																	
心エコー	2 件	2 件	1 件	- 件	- 件	件	▲2 件																																																																																																																	
頸動脈エコー	2 件	2 件	2 件	- 件	- 件	件	▲2 件																																																																																																																	
計	153 件	141 件	167 件	148 件	128 件	件	▲25 件																																																																																																																	
出向先	診療科	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																																																																																																
東白川村国 保診療所	外科	延 12 日	延 12 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 日	▲12 日																																																																																																																
	整形外科	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 0 日	延 日	±0 日																																																																																																																
東白川村母 子健康センター	産婦人科	延 21 日	延 20 日	延 20 日	延 22 日	延 20 日	延 日	▲1 日																																																																																																																
合計		延 33 日	延 32 日	延 20 日	延 22 日	延 20 日	延 日	▲13 日																																																																																																																

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																	
								自己 評価	検 証 (案)																																
		○ 下呂市がん検診等の受診状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減 (元-R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>2,087 名</td> <td>1,970 名</td> <td>1,957 名</td> <td>1,924 名</td> <td>1,556 名</td> <td>名</td> <td>▲531 名</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか 健診</td> <td>629 名</td> <td>617 名</td> <td>542 名</td> <td>529 名</td> <td>573 名</td> <td>名</td> <td>▲56 名</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス 検査</td> <td>59 名</td> <td>37 名</td> <td>45 名</td> <td>42 名</td> <td>48 名</td> <td>名</td> <td>▲11 名</td> </tr> </tbody> </table>						種 類	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)	下呂市がん検診	2,087 名	1,970 名	1,957 名	1,924 名	1,556 名	名	▲531 名	下呂市特定・すこやか 健診	629 名	617 名	542 名	529 名	573 名	名	▲56 名	下呂市肝炎ウイルス 検査	59 名	37 名	45 名	42 名	48 名	名	▲11 名		
種 類	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R5)																																		
下呂市がん検診	2,087 名	1,970 名	1,957 名	1,924 名	1,556 名	名	▲531 名																																		
下呂市特定・すこやか 健診	629 名	617 名	542 名	529 名	573 名	名	▲56 名																																		
下呂市肝炎ウイルス 検査	59 名	37 名	45 名	42 名	48 名	名	▲11 名																																		
15	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところにより、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。 また、業務計画の定期的な見直しなどにより受入体制の充実を図るとともに、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を実施する。 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 新型インフルエンザ等発生時において速やかに対処できるよう職員への教育・訓練等を実施し、計画の検証を行う。	* 新型インフルエンザ等発生時における役割に関する事項 新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟については、保健所、関連医療機関と連携・情報共有しながら全室個室の強みを生かし、フェーズに応じて最大62床（5類感染症移行後は最大20床）まで患者を受け入れる体制を整備し、飛躍圏域及び近隣圏域でクラスター感染した多くの入院患者に対応した。 また、発熱外来は外来CブロックとAブロックの感染症診察室をベースに、駐車場整備とスタッフ配置によって、他の外来患者と時間的分離・空間的分離を図るとともに、HEPAフィルター付空気清浄機を設置し、エアロゾル感染対策環境を整えた。 新型インフルエンザ等感染症対応の業務継続計画をもとに、院内で対応してきた内容を踏まえた新型コロナウイルス感染症の業務継続計画案を作成し、また飛躍保健所等、関係機関と感染症対応訓練を実施した。 ○ 新型コロナウイルス感染症患者受入実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226 名</td> <td>338 名</td> <td>134 名</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288 名</td> <td>626 名</td> <td>760 名</td> </tr> </tbody> </table> ※累計患者数は、受入開始（R2年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点	項目/年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	受入患者数	226 名	338 名	134 名	累計患者数	288 名	626 名	760 名	IV																										
項目/年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																						
受入患者数	226 名	338 名	134 名																																						
累計患者数	288 名	626 名	760 名																																						
20	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法(昭和23年法律第205号)をはじめとする関係法令を遵守するとともに、医療	* コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の徹底に関する事項 医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。職員に対しては研修等を通して意識啓発を促した。 また、定期的に実施される監事監査及び内部監査の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスの遵守を徹底した。	III																																						

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価		評価委員会の検証										
			自己 評価	検 証 (案)										
	<p>情報の情報開示については、岐阜県情報公開条例(平成12年岐阜県条例第56条)及び岐阜県個人情報保護条例(平成10年岐阜県条例第21号)に基づき、適切に対応する。</p> <p>職員に対しては、コンプライアンスについて研修するなど意識啓発に関する取組を実施するほか、監事監査や内部監査などによる検証・評価に努める。</p>	<p>○ 内部監査の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 院内感染対策にかかると業務(体制整備、教育指導、院内連絡調整) </td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 総合健診センターにかかると業務(請求事務、還付手続、契約事務、釣銭管理、未収金) </td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 管理担当にかかると業務(調達、管理) 経営企画担当にかかると業務(重要文書、各種届出、予算・決算、会計、臨床研修) </td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 情報にかかると業務(組織・体制、情報資産の分類と管理、物理的セキュリティ対策、人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、運用、評価・見直し) 看護にかかると業務(看護基準、看護手順・各種マニュアル、看護部委員会等の開催、目標の設定と管理、教育及び研修) </td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全にかかると業務(病院の理念、取組に係る指針、委員会、管理部門、安全確保のための改善方策、職員研修) 施設管理にかかると業務(施設管理、緊急時の対応、危機管理への対応、保育所運営) </td> </tr> </table>	令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 院内感染対策にかかると業務(体制整備、教育指導、院内連絡調整) 	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 総合健診センターにかかると業務(請求事務、還付手続、契約事務、釣銭管理、未収金) 	令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 管理担当にかかると業務(調達、管理) 経営企画担当にかかると業務(重要文書、各種届出、予算・決算、会計、臨床研修) 	令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 情報にかかると業務(組織・体制、情報資産の分類と管理、物理的セキュリティ対策、人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、運用、評価・見直し) 看護にかかると業務(看護基準、看護手順・各種マニュアル、看護部委員会等の開催、目標の設定と管理、教育及び研修) 	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全にかかると業務(病院の理念、取組に係る指針、委員会、管理部門、安全確保のための改善方策、職員研修) 施設管理にかかると業務(施設管理、緊急時の対応、危機管理への対応、保育所運営) 		
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 院内感染対策にかかると業務(体制整備、教育指導、院内連絡調整) 													
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 総務関係にかかると業務(文書管理、情報公開、労務管理、給与、資金管理) 総合健診センターにかかると業務(請求事務、還付手続、契約事務、釣銭管理、未収金) 													
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 管理担当にかかると業務(調達、管理) 経営企画担当にかかると業務(重要文書、各種届出、予算・決算、会計、臨床研修) 													
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 情報にかかると業務(組織・体制、情報資産の分類と管理、物理的セキュリティ対策、人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、運用、評価・見直し) 看護にかかると業務(看護基準、看護手順・各種マニュアル、看護部委員会等の開催、目標の設定と管理、教育及び研修) 													
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全にかかると業務(病院の理念、取組に係る指針、委員会、管理部門、安全確保のための改善方策、職員研修) 施設管理にかかると業務(施設管理、緊急時の対応、危機管理への対応、保育所運営) 													
23	<p>1 効果的な病床管理及び医療機器の効率的な活用</p> <p>病床利用率については、常勤医師の確保により入院患者数の増加を目指すとともに、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効果的で効率的な病床管理を徹底することで、病床利用率83%以上を目指す。</p> <p>また、開放型病床の活用を努め、地域の医療機関と共同で治療を行うことにより、病診連携の強化とともに収益確保を図る。</p> <p>医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の視点から開業医等の共同利用促進に努める。</p> <p>2 人間ドック等の積極的な受入れ</p>	<p>* 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用</p> <p>収入の確保については、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施した。</p> <p>「地域包括ケア病棟」については、令和2年度中盤から1棟を新型コロナウイルス感染症の専用病床としていたが、5月に地域包括ケア病棟としての運用を再開した。週2回定例転棟会議を実施するとともに、急性期病棟の稼働状況に合わせて臨時の転棟会議を実施するなど、効率的な運用を行った。</p> <p>令和5年度8月から、地域包括ケア病棟の1棟38床を「療養病棟」に切り替えた。急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期病棟、療養病棟の各機能をうまく連携させ、急性期から在宅復帰までの一貫した医療の提供を図った。</p> <p>未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等努めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。</p> <p>また、発生した未収金に対しては、電話や臨室による催告を必要に応じて実施し、分納制度を活用するなどして回収に努め、また、令和4年度から弁護士による未収金回収業務委託契約(成功報酬型)を結び、回収困難な事例については弁護士への委託も視野に入れることとした。</p> <p>さらには、患者の利便性を高めるため、コンビニ収納の導入(令和3年11月)、クレジットカード支払いの導入(令和5年6月)を行った。</p> <p>新たな施設基準の取得により、収入の確保を図っている。</p> <p>国の医療制度改革や診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会などへ参加した。また、院内各部署と情報共有を図るために院内説明会を行うなど迅速な対応に努めた。</p>	III											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																																																
								検 証 (案)																																																																																																																																																																
	<p>健康診断の最も基本的なコースである人間ドックの積極的な受入れや下呂市健診・検診の拡大により収入の確保に努める。</p> <p>3 未収金の発生防止対策等</p> <p>公的制度を可能な限り利用し、患者窓口負担の軽減を図るといった未収金の発生防止策を進めるほか、発生した未収金に対しては、分納制度等の支払いやすい方法を提示して、未収金の回収に努める。</p> <p>医療費の支払方法や患者の利便性の向上など未収金の発生を抑制する方策を検討する。</p> <p>使用料・手数料についても、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定ができるよう努める。</p>	<p>○ 病床利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減(元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東5</td> <td>72.7%</td> <td>72.3%</td> <td>58.8%</td> <td>57.1%</td> <td>50.7%</td> <td>%</td> <td>▲22P</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>81.9%</td> <td>81.5%</td> <td>65.5%</td> <td>62.0%</td> <td>63.2%</td> <td>%</td> <td>▲18.7P</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>65.9%</td> <td>30.5%</td> <td>29.5%</td> <td>31.7%</td> <td>35.0%</td> <td>%</td> <td>▲30.9P</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>63.0%</td> <td>67.0%</td> <td>57.1%</td> <td>57.1%</td> <td>64.8%</td> <td>%</td> <td>+1.8P</td> </tr> <tr> <td>東3(包括ケア)</td> <td>59.4%</td> <td>63.1%</td> <td>54.0%</td> <td>55.9%</td> <td>62.0%</td> <td>%</td> <td>+2.6P</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>78.3%</td> <td>83.9%</td> <td>80.7%</td> <td>73.9%</td> <td>81.9%</td> <td>%</td> <td>+3.6P</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>70.2%</td> <td>65.5%</td> <td>56.4%</td> <td>55.3%</td> <td>58.2%</td> <td>%</td> <td>▲12P</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 届出病床数206床 注2) 東4：H26.9～ 地域包括ケア病棟移行 注3) 西4：H28.3～ 地域包括ケア病棟移行 注4) 東3：H30.10～ 地域包括ケア病棟移行 注5) 東4：R2.10～ 新型コロナウイルス感染症専用病棟(特例期間) 注6) 東4：R5.8～ 療養病棟移行</p> <p>○ その他の指標 (単位 収益:千円、単価:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>増減 (元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>52,959名</td> <td>49,268名</td> <td>42,425名</td> <td>41,561名</td> <td>43,862名</td> <td>名</td> <td>▲9,097名</td> </tr> <tr> <td>1日平均 入院患者数</td> <td>144.7名</td> <td>135.0名</td> <td>116.2名</td> <td>113.9名</td> <td>119.8人</td> <td>名</td> <td>▲24.9名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.7日</td> <td>16.7日</td> <td>16.0日</td> <td>15.1日</td> <td>13.2日</td> <td>日</td> <td>+1.5日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,060,983</td> <td>1,919,027</td> <td>1,687,892</td> <td>1,730,408</td> <td>1,736,953</td> <td></td> <td>▲324,030</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,917</td> <td>38,951</td> <td>39,785</td> <td>41,635</td> <td>39,600</td> <td></td> <td>+683</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>83,519名</td> <td>74,858名</td> <td>73,653名</td> <td>62,482名</td> <td>59,381名</td> <td>名</td> <td>▲24,138名</td> </tr> <tr> <td>1日平均 外来患者数</td> <td>346.2名</td> <td>308.1名</td> <td>304.4名</td> <td>257.1名</td> <td>244.4名</td> <td>名</td> <td>▲101.8名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>1,003,499</td> <td>908,231</td> <td>923,378</td> <td>847,230</td> <td>779,720</td> <td></td> <td>▲223,779</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>12,015</td> <td>12,133</td> <td>12,537</td> <td>13,560</td> <td>13,131</td> <td></td> <td>+1,116</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益 (特別室)</td> <td>5,148</td> <td>6,753</td> <td>5,091</td> <td>3,810</td> <td>3,255</td> <td></td> <td>▲1,893</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>2,053</td> <td>3,007</td> <td>3,703</td> <td>3,384</td> <td>2,087</td> <td></td> <td>+34</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く</p>					病棟	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(元→R5)	東5	72.7%	72.3%	58.8%	57.1%	50.7%	%	▲22P	西5	81.9%	81.5%	65.5%	62.0%	63.2%	%	▲18.7P	東4(包括ケア)	65.9%	30.5%	29.5%	31.7%	35.0%	%	▲30.9P	西4(包括ケア)	63.0%	67.0%	57.1%	57.1%	64.8%	%	+1.8P	東3(包括ケア)	59.4%	63.1%	54.0%	55.9%	62.0%	%	+2.6P	西3(回復期)	78.3%	83.9%	80.7%	73.9%	81.9%	%	+3.6P	全体	70.2%	65.5%	56.4%	55.3%	58.2%	%	▲12P	項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)	入院延患者数	52,959名	49,268名	42,425名	41,561名	43,862名	名	▲9,097名	1日平均 入院患者数	144.7名	135.0名	116.2名	113.9名	119.8人	名	▲24.9名	平均在院日数	11.7日	16.7日	16.0日	15.1日	13.2日	日	+1.5日	入院収益	2,060,983	1,919,027	1,687,892	1,730,408	1,736,953		▲324,030	入院診療単価	38,917	38,951	39,785	41,635	39,600		+683	外来延患者数	83,519名	74,858名	73,653名	62,482名	59,381名	名	▲24,138名	1日平均 外来患者数	346.2名	308.1名	304.4名	257.1名	244.4名	名	▲101.8名	外来収益	1,003,499	908,231	923,378	847,230	779,720		▲223,779	外来診療単価	12,015	12,133	12,537	13,560	13,131		+1,116	室料差額収益 (特別室)	5,148	6,753	5,091	3,810	3,255		▲1,893	受託検査収益	2,053	3,007	3,703	3,384	2,087		+34		
病棟	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減(元→R5)																																																																																																																																																																	
東5	72.7%	72.3%	58.8%	57.1%	50.7%	%	▲22P																																																																																																																																																																	
西5	81.9%	81.5%	65.5%	62.0%	63.2%	%	▲18.7P																																																																																																																																																																	
東4(包括ケア)	65.9%	30.5%	29.5%	31.7%	35.0%	%	▲30.9P																																																																																																																																																																	
西4(包括ケア)	63.0%	67.0%	57.1%	57.1%	64.8%	%	+1.8P																																																																																																																																																																	
東3(包括ケア)	59.4%	63.1%	54.0%	55.9%	62.0%	%	+2.6P																																																																																																																																																																	
西3(回復期)	78.3%	83.9%	80.7%	73.9%	81.9%	%	+3.6P																																																																																																																																																																	
全体	70.2%	65.5%	56.4%	55.3%	58.2%	%	▲12P																																																																																																																																																																	
項目	元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増減 (元→R5)																																																																																																																																																																	
入院延患者数	52,959名	49,268名	42,425名	41,561名	43,862名	名	▲9,097名																																																																																																																																																																	
1日平均 入院患者数	144.7名	135.0名	116.2名	113.9名	119.8人	名	▲24.9名																																																																																																																																																																	
平均在院日数	11.7日	16.7日	16.0日	15.1日	13.2日	日	+1.5日																																																																																																																																																																	
入院収益	2,060,983	1,919,027	1,687,892	1,730,408	1,736,953		▲324,030																																																																																																																																																																	
入院診療単価	38,917	38,951	39,785	41,635	39,600		+683																																																																																																																																																																	
外来延患者数	83,519名	74,858名	73,653名	62,482名	59,381名	名	▲24,138名																																																																																																																																																																	
1日平均 外来患者数	346.2名	308.1名	304.4名	257.1名	244.4名	名	▲101.8名																																																																																																																																																																	
外来収益	1,003,499	908,231	923,378	847,230	779,720		▲223,779																																																																																																																																																																	
外来診療単価	12,015	12,133	12,537	13,560	13,131		+1,116																																																																																																																																																																	
室料差額収益 (特別室)	5,148	6,753	5,091	3,810	3,255		▲1,893																																																																																																																																																																	
受託検査収益	2,053	3,007	3,703	3,384	2,087		+34																																																																																																																																																																	

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																									
								自己 評価	検 証 (案)																								
		注2) 金額は税込で表示 ○ 未収金の発生状況と未収額 (金額: 千円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>増減(元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>130 件</td> <td>170 件</td> <td>283 件</td> <td>258 件</td> <td>205 件</td> <td>件</td> <td>+75 件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>3,488</td> <td>4,259</td> <td>4,633</td> <td>4,225</td> <td>6,061</td> <td></td> <td>+2,573</td> </tr> </tbody> </table> ※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額						項 目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(元→R5)	現年度件数	130 件	170 件	283 件	258 件	205 件	件	+75 件	未収金額	3,488	4,259	4,633	4,225	6,061		+2,573		
項 目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(元→R5)																										
現年度件数	130 件	170 件	283 件	258 件	205 件	件	+75 件																										
未収金額	3,488	4,259	4,633	4,225	6,061		+2,573																										